

6年生 web 教室 国語

「合格力ファイナル」の授業動画の視聴につきまして

※プリント教材 合格力ファイナル web 教室 予想問題演習①～④ を使用します。

☆動画の内容

1： 各回の導入

- 第1回 入試を解くにあたっての心構え・・・一つの問題にこだわらず、まずはできるところから解くことが大切です。
- 第2回 解答用紙に目を通そう！・・・解答用紙をながめて、どの大問から解くか、注意すべき問題はないか、確かめておきましょう。
- 第3回 物語文の読解の要点・・・場面と心情に着目して、文章全体の流れをつかむことが第一です。また、この回では 60 分の試験時間のプリントを使用します。
- 第4回 論説文の読解の要点・・・話題（重要語句）は何か、どのように説明されているか、筆者の意見は何か、と順序立てて読むことが必要です。

2： プリントの解説

同封してある解説解答を見て、一度自分で丸つけをしてみてください。動画では、記述問題を中心に文章読解が求められる問題について、それぞれ解説していきます。

※解説に応じて、チャプター分けがされています。自分の必要な部分を中心にご視聴ください。

※漢字・語句に関連した問題は、解説を省略する場合がございます。ご了承ください。

3： 宿題の指示

宿題は間違い直しのみ、となります。自分の目標とする学校に向けて、時間配分はできていたか、問題の解き方はどうだったかなど、振り返りながら取り組んでみてください。

w e b 教室の教材と同様の心構えで自分の目標とする学校の過去問を解いてみるのも有効です。

☆視聴の流れ

- ① 導入の視聴・・・入試本番に向けて、心構えや注意点についての確認です。あらかじめプリント教材を解いてから視聴しても構いませんが、気をつけるべき点を確認してから、問題を解いた方が効果的です。
- ② 問題演習と自己採点・・・第3回（60分）を除いて、各回 50 分の試験時間となります。時間を計って取り組んでみましょう。目標点は 60 点ですが、点数そのものよりも時間配分に気をつけて取り組むことができたか、それぞれの問題の解き方をしっかり活かすことができたか、が大切です。テスト後、自分で丸つけをしてみましょう。記述問題の丸つけに悩んだ場合は、動画の解説で要点を確かめてみてください。
- ③ 解説の視聴・・・問題の解き方についての解説です。解き方を確かめて、本番に活かせるように読解力を養いましょう。

第1回 大問一（物語文）「PK戦」 蒼井上鷹

大問二（論説文）「言葉から誤解が生まれる」 飯間浩明

【概要】入試では一般的な文章題2題の構成です。大問二がやや長めの文章となりますので、それを踏まえて取り組むといいでしょう。大問二の問三～五のぬき出し問題に時間を取られるかもしれません。見つからない場合は後回しにして、別の問題に移ることも大切です。

第2回 大問一（語句） ことわざ

大問二（物語文）「明日ハ晴レカナ曇リカナ」 風野潮

大問三（論説文）「思考の補助線」 茂木健一郎

【概要】語句（あるいは漢字）の大問が独立して存在している形式の出題もまた入試ではよく見られます。今回は大問一に語句問題があるので、素直に解いていくことができますが、最後の大問が語句になる場合も多いため、問題を解きはじめる前にまず解答用紙をながめて、漢字語句の大問の有無を確かめておきましょう。

第3回 大問一（物語文）「明日へつづくリズム」 八束澄子

大問二（論説文）「今この国で大人になるということ」 菅野仁

【概要】今回は60分の試験時間での取り組みとなります。時間配分に注意して着実に解いていくことが大切です。大問一の文章がやや長めの文章となります。問十二で場面分けの問題が出題されていますが、出題がなくても、おおまかに場面をつかんでおくと、問題を解くときに役立ちます。

第4回 大問一（論説文）「セミたちと温暖化」 日高敏隆

大問二（物語文）「かあちゃん」 重松清

【概要】今回は50分の試験時間での取り組みになりますが、問題量としては前回と同じくらいですので、てきぱきと解いていく意識を持ってチャレンジしましょう。大問一では「乱文整序」という前後の文脈を考える出題もあります。あわてずに一つ一つ着実に解いていくようにしましょう。

● 副教材「語句のまとめ」につきまして（お持ちの方）

漢字や語句の知識をより幅広いものにするための副教材です。自分の目標とする学校の過去問を確かめて、出題の多い単元があれば、まずはその単元を集中的に取り組みましょう。

【カリキュラム】

- 第1回、第2回 — 同音異義語・同訓異字
- 第3回、第4回 — ことわざ
- 第5回～第7回 — 慣用句
- 第8回～第11回 — 四字熟語・三字熟語
- 第12回 — 敬語
- 第13回～第15回 — 品詞
- 第16回～第20回 — 様々な語句の知識について
- 特別回① — 主語・述語・修飾語
- 特別回② — 漢字

☆語句の意味や知識を問う出題が目立つ場合は、第3回～第11回の学習が効果的です。

☆漢字の知識を中心とした出題が目立つ場合は、第1回～第2回、特別回②の学習が効果的です。

※語句の出題傾向は学校によって異なるので、web教室の動画の中では宿題としての指示はありません。自分のペースでこつこつと繰り返し学習を進めていって、知識を広げていってください。

単元をしぼらずに学習を進める場合は、各回の前半2ページずつを毎週取り組んでいくなど、無理のないペースで行いましょう。